

広報ふたば

【表紙写真】スポーツで深まる絆

(ふたばスポーツフェスティバル2023)



ふたばスポーツフェスティバル
FUTABA SPORTS FESTIVAL

福島特定原子力施設地域復興交付金事業

町民の皆さまへ

あの暑かった夏を忘れてしまうかのよう
に急に気温が下がり、日に日に日暮れが早
くなって、秋の深まりを感じます。駅前交
差点の街路樹のイチョウも黄色に色づいて
きました。

9月13日に第2次岸田再改造内閣が発足
し、双葉町に関係の深い、復興大臣、環境
大臣が交代しました。9月21日には土屋品
子復興大臣が高木宏壽副大臣、平木大作副
大臣とともに就任あいさつのため双葉町役
場に来庁されました。土屋大臣には、大臣
就任のお祝いを述べるとともに、帰還困難
区域の避難指示解除を実現するため、特定
帰還居住区域のインフラ整備に必要な支援
を行うことや、今後も新たな課題が山積し
ている双葉町の現状を説明し、第二期復
興・創生期間以後も、各種交付金・補助金
等、必要な予算を確保し、十分かつきめ細
かな支援を行っていただくことを伊藤町議
会議長とともに強く要望しました。

10月12日には伊藤信太郎環境大臣が就任
のあいさつのため、滝沢求副大臣、国定勇
人環境大臣政務官とともに双葉町役場を訪
問されました。伊藤大臣には、帰還困難区
域の避難指示解除に向けた除染等の取り組
みについて、除去土壌等の県外最終処分
に向けた取り組みを計画的かつ確実に進める
ことや、ALPS処理水の海洋放出にあ
たってのモニタリングに重点的に取り組ん
でいただくよう強く要望しました。

また、留任された西村康稔経済産業大臣
は、9月17日に初回のALPS処理水の海
洋放出後初めて福島県を訪れた際に、双葉

町の中野地区復興産業拠点で操業している
浅野燃系株式会社フタバスーパーゼロミル
を視察された折に面会する機会があり、双
葉町の厳しい状況をご理解いただき、町の
復興に全力で取り組んでいただくようお願
いしました。

9月30日にはふたばスポーツフェスティ
バル2023が、4年ぶりに東日本大震
災・原子力災害伝承館の芝生（アーカイブ
広場）において開催され、約130人が参
加して、青空の下でスポーツを通じた交流
を行い、私も町民の皆さんとともに心地よ
い汗を流しました。

10月8日には、双葉町産業交流センター
において福島県立双葉高等学校創立100
年記念式典が挙行されました。双葉高校は
現在休校となっているため、節目となる記
念式典を双葉高校で挙行できなかったこと
は残念でなりません。が、百年前、双葉高校
を誘致するために先人たちが並々ならぬ苦
労をして一大偉業に取り組まれたことを肝
に銘じ、双葉町の復興なくして双葉高校の
復活はあり得ないとの強い思いで今後も双
葉町の復興、教育環境の整備に取り組んで
いきたいと決意を新たにしました次第です。

10月1日現在で町内に居住する帰還・転
入登録者数が95人となりました。今後も町
内に多くの人が集い、帰還される町民の方
や、移住される方がますます増えていくよ
う町内の環境整備に全力で取り組んでまい
ります。

寒さに向かう季節ですので、風邪などひ
かぬよう体調管理にはくれぐれもご留意さ
れますようお願いいたします。

双葉町長 伊澤 史朗

土屋品子復興大臣来庁

9月21日、土屋品子復興大臣が高木宏壽副大臣、平木大作副大臣とともに、就任あいさつのため来
庁されました。伊澤史朗町長、伊藤哲雄町議会議長から要望書を手渡し、その要望内容の説明と意見交
換が行われました。要望書の詳細は、町公式ホームページに掲載しています。

10月11日には、土屋大臣と両副大臣が、双葉町内のJR双葉駅西側の町営住宅や鴻草、三字など
の帰還困難区域を視察に訪れました。伊澤町長は町内を案内し、町の現状について説明するとともに、
町産業交流センターで行われた大臣と相双地区の事業主等との座談会にも出席しました。



西村康稔経済産業大臣が町内を視察

9月17日、西村康稔経済産業大臣が相双地方を視察された際に、双葉町の中野地区復興産業拠点で操業している浅野撚糸株式会社フタバスーパーゼロミルを訪れました。伊澤史朗町長も視察に同行しました。

西村大臣は、工場内の吸水性が高い特殊な糸を加工する工程を見学し、浅野雅己社長より加工の技術や使用している機械などの説明を受けました。施設内のキーズカフェもご覧になり、タオルショップではダキシメテフタバのタオルを購入されました。



伊藤信太郎環境大臣来庁

10月12日、伊藤信太郎環境大臣が滝沢求副大臣、国定勇人環境大臣政務官とともに就任あいさつのため来庁されました。伊澤町長は大臣就任のお祝いを述べるとともに町の復興に対するご支援に対し感謝を述べ、以下の内容について強く要望しました。

- ・ 特定帰還居住区域での除染や家屋の解体に着手し、町内全域の避難指示解除実現に向けた取り組みを進めること
- ・ 除去土壌の県外最終処分に向けた取り組みを進めること
- ・ ALPS 処理水の海洋放出に対して、モニタリングと国内外へ向けた丁寧な情報発信を実施すること



令和6年5月末に「駅西住宅」が完成します

入居者募集のご案内 募集予定戸数

住宅区分／戸数	タウンハウス	戸建	合計	備考
災害公営住宅	3戸	5戸	8戸	戸建の一部に
再生賃貸住宅	19戸	6戸	25戸	ペット可有り



募集の詳細は、令和6年1月の広報ふたばでお知らせします。

※現在募集中の住宅があります

災害公営住宅（タウンハウス3DK）2戸について、先着順で募集中です。

【問い合わせ先】 総務課 管財係 ☎0240-33-0124

令和4年度

一般会計決算報告

令和4年度の一般会計の決算額は、歳入総額186億1,328万7千円（前年度比43.7%減）、歳出総額165億9,267万2千円（前年度比47.2%減）となりました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支は20億2,061万5千円となり、翌年度（令和5年度）に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は14億4,754万7千円の黒字となりました。

歳入 186億1,328万7千円（前年度比43.7%減）

【歳入決算の内訳】

（単位：千円・%）

区 分	令和4年度		令和3年度		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	増減率
自主財源	12,932,188	69.5	17,774,868	53.8	△4,842,680	△27.2
町 税	1,325,621	7.1	1,354,532	4.1	△28,911	△2.1
分担金及び負担金	8	—	1,591	—	△1,583	△99.5
使用料及び手数料	68,156	0.4	64,365	0.2	3,791	5.9
財産収入	46,872	0.3	186,170	0.6	△139,298	△74.8
寄 附 金	14,831	0.1	21,668	0.1	△6,837	△31.6
※1繰 入 金	9,725,579	52.2	10,295,615	31.1	△570,036	△5.5
繰 越 金	1,632,734	8.8	1,400,033	4.2	232,701	16.6
諸 収 入	118,387	0.6	4,450,894	13.5	△4,332,507	△97.3
依存財源	5,681,099	30.5	15,294,033	46.2	△9,612,934	△62.9
地 方 譲 与 税	43,379	0.2	43,321	0.1	58	0.1
利子割交付金	93	—	169	—	△76	△45.0
配当割交付金	941	—	1,163	—	△222	△19.1
株式等譲渡所得割交付金	663	—	1,224	—	△561	△45.8
法人事業税交付金	12,654	0.1	12,702	—	△48	△0.4
地方消費税交付金	145,265	0.8	142,592	0.5	2,673	1.9
自動車取得税交付金	—	—	—	—	—	—
環境性能割交付金	2,763	—	2,607	—	156	6.0
地方特例交付金	2,089	—	3,061	—	△972	△31.8
※2地 方 交 付 税	2,049,277	11.0	1,654,406	5.0	394,871	23.9
交通安全対策特別交付金	—	—	—	—	—	—
※3国 庫 支 出 金	1,848,252	9.9	11,848,069	35.8	△9,999,817	△84.4
※4県 支 出 金	1,575,723	8.5	1,584,719	4.8	△8,996	△0.6
歳 入 合 計	18,613,287	100.0	33,068,901	100.0	△14,455,614	△43.7

※1 各種基金等から繰り入れるお金 ※2 一定水準の行政サービスを提供するために国から交付されるお金（東日本大震災復興特別交付税を含む） ※3 特定の目的のために国から交付されるお金 ※4 特定の目的のために県から交付されるお金

歳出 165億9,267万2千円（前年度比47.2%減）

【目的別決算の内訳】

（単位：千円・%）

区 分	令和4年度		令和3年度		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	増減率
議 会 費	96,786	0.6	56,957	0.2	39,829	69.9
総 務 費	8,412,235	50.7	6,324,028	20.1	2,088,207	33.0
民 生 費	2,191,281	13.2	5,203,780	16.6	△3,012,499	△57.9
衛 生 費	731,228	4.4	450,006	1.4	281,222	62.5
労 働 費	3	—	3	—	—	—
農 林 水 産 業 費	226,427	1.4	287,605	0.9	△61,178	△21.3
商 工 費	306,436	1.8	193,762	0.6	112,674	58.2
土 木 費	1,101,158	6.6	2,137,837	6.8	△1,036,679	△48.5
消 防 費	460,477	2.8	174,502	0.6	285,975	163.9
教 育 費	298,186	1.8	245,070	0.8	53,116	21.7
災 害 復 旧 費	231,327	1.4	406,981	1.3	△175,654	△43.2
公 債 費	193,856	1.2	202,179	0.6	△8,323	△4.1
諸 支 出 金	2,343,272	14.1	15,753,457	50.1	△13,410,185	△85.1
歳 出 合 計	16,592,672	100.0	31,436,167	100.0	△14,843,495	△47.2

令和4年度 一般会計の主な事業と決算額

■ 総務費

・復興まちづくり支援事業	6,164万5千円
・公共交通運行事業	3,130万5千円
・中野地区復興産業拠点整備事業	6億1,825万5千円
・双葉駅西地区復興拠点整備事業(前年度繰越分含む)	52億7,362万7千円
・庁舎整備事業	12億2,355万8千円

■ 民生費

・国民健康保険特別会計繰出金	1億1,306万8千円
・介護保険特別会計繰出金	1億3,875万6千円
・福島県後期高齢者医療広域連合負担金	6,910万4千円
・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業(前年度繰越分含む)	2,323万4千円
・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業	1億209万9千円
・子育て世帯生活支援特別給付金事業	2,331万5千円
・町内防犯・防災パトロール事業	2億8,359万4千円
・ICTきずな支援システム事業	2億3,037万1千円
・復興支援員事業	7,349万7千円
・防犯・防災総合システム事業(撤去事業含む)	1億8,517万5千円
・中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金事業	7,420万5千円
・新・生活サポート交付金事業	2億4,809万8千円

■ 衛生費

・中間貯蔵施設に関する地権者支援事業	8,537万3千円
・医療施設整備・運営事業	2億9,089万8千円
・双葉地方水道企業団負担金	9,335万9千円

■ 農林水産業費

・新規参入・就農促進等調査事業	1,791万円
・営農再開支援事業補助金	8,630万6千円
・営農再開支援水利施設等保全事業	2,081万3千円
・イノシシ等有害鳥獣捕獲事業	1,548万8千円

■ 商工費

・企業誘致推進事業	2,200万円
・産業交流センター維持運営事業(前年度繰越分含む)	1億617万9千円
・操業奨励金	353万3千円
・産業交流センター商業施設雇用補助金	678万8千円

■ 土木費

・橋梁長寿命化・補修事業	4,725万4千円
・深谷ご線人道橋撤去事業	3,925万5千円
・中田・観音堂線整備事業	3,980万7千円
・前田・長塚線整備事業	893万4千円
・公共下水道事業特別会計繰出金(翌年度繰越事業特定財源含む)	7億7,333万5千円

■ 消防費

・双葉地方広域市町村圏組合負担金	1億2,277万7千円
・消防施設整備事業(前年度繰越分含む)	1億3,980万3千円
・防災行政無線整備事業	1億3,794万円

■ 教育費

・要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業	2,584万7千円
----------------------	-----------

■ 災害復旧費

・公共土木施設災害復旧事業(前年度繰越分含む)	2億2,846万7千円
-------------------------	-------------

■ 諸支出金

・財政調整基金積立金	7億3,094万1千円
・公共施設整備基金積立金	6,423万8千円
・東日本大震災復興基金積立金	3,436万9千円
・福島再生加速化交付金基金積立金	5,858万2千円
・電源立地地域対策交付金施設整備基金積立金	3億5,586万1千円

令和4年度決算における主な財政指標等

■ 地方債と基金現在高

地方債現在高

会計区分	4年度末現在高
一般会計	12億5,313万9千円
公有林整備事業特別会計	271万5千円
公共下水道事業特別会計	5億328万3千円
合計	17億5,913万7千円

基金現在高(一般会計)

基金の種別		4年度末現在高
積立基金	財政調整基金	35億9,382万6千円
	減債基金	66万7千円
	その他の特定目的基金	663億2,681万3千円
	小計	699億2,130万6千円
定額運用基金	土地開発基金	2億2,070万円
	災害援護特別資金貸付基金	5,000万円
	その他の定額運用基金	1億589万円
	小計	3億7,659万円
合計	702億9,789万6千円	

■ 主な財政指標

◎ 財政力指数 0.69(3カ年平均)

普通交付税の基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た過去3カ年の平均値で、「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

◎ 経常収支比率 73.4%

人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に、地方税、地方交付税などの一般財源がどの程度充当されたかをみる指標で、この比率が低いほど、財政構造に弾力があるとされています。

令和4年度 特別会計歳入歳出決算の状況

■ 特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理する会計で、双葉町には以下の会計があります。

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	13億2,706万6千円	12億4,729万8千円	7,976万8千円
公有林整備事業	194万5千円	194万5千円	—
公共下水道事業	9億2,832万8千円	7億7,462万4千円	1億5,370万4千円
介護保険	9億8,929万7千円	9億7,694万2千円	1,235万5千円
後期高齢者医療	2,660万1千円	2,592万2千円	67万9千円

(千円未満の端数処理により、円単位と一致しない場合があります。)

健全化判断比率及び資金不足比率について報告

令和4年度決算に基づく財政の健全化判断比率及び資金不足比率は、次のとおりです。

1. 健全化判断比率

(単位：%)

区 分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率		将来負担比率
			3カ年平均	単年度	
令和4年度	—	—	4.0	3.53113	—
令和3年度	—	—	4.4	4.02874	—
比率の増減	—	—	▲0.4	▲0.49761	—

※表中において、実質赤字額、連結実質赤字額がなく、将来負担比率が算定されないため「—」と表示しています。

〔参考〕

(単位：%)

早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

2. 資金不足比率

(単位：%)

区 分	資金不足比率
	公共下水道事業特別会計
令和4年度	—
令和3年度	—
比率の増減	—

※表中において、資金不足額がないため「—」と表示しています。

健全化判断比率及び資金不足比率とは

平成19年度に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、地方公共団体の財政の健全化を示すために定められた指標です。

双葉町では、「実質公債費比率」が高いことから、平成18年度に「公債費負担適正化計画」をスタートさせ、平成21年度には「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく「財政健全化計画書」を策定し、実質公債費比率の抑制に取り組んできました。比率の推移としては、平成19年度決算の30.1%（3カ年平均）をピークに、平成20年度以降は地方債残高の抑制努力により比率を徐々に引き下げ、平成22年度決算で早期健全化基準（25%）未達の23.7%となり、平成25年度決算では公債費負担適正化計画より1年前倒しして、実質公債費比率が18%を下回る17.1%となりました。令和4年度決算では令和3年度決算から0.4%減の4.0%となりました。

また、令和4年度の公共下水道事業特別会計において、資金不足は発生しておりません。

用語の説明

- * 実質赤字比率** 普通会計（一般会計と公有林整備事業特別会計）における実質赤字額の標準財政規模（地方公共団体が自由に使える財源の標準的な規模）に対する比率です。
- * 連結実質赤字比率** 町の全会計を対象に実質赤字額（普通会計・国民健康保険特別会計、介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）・資金不足額（公共下水道事業特別会計）の標準財政規模に対する比率です。
- * 実質公債費比率** 経常的な一般財源に対する普通会計の公債費や公債費に準ずる債務負担行為（請戸川水系県営水利事業負担金等）、公営企業債（公共下水道事業特別会計）への繰出金、一部事務組合（双葉地方広域市町村圏組合、双葉地方水道企業団）への負担金のうち公債費に充てられた一般財源の割合で、過去3カ年の平均を求めたものです。
- * 将来負担比率** 現在かかえている負債が、将来、財政を圧迫する可能性が高いかを示すストック指標で、公営企業、出資法人等を含めた普通会計の実質的負担の標準財政規模に対する比率です。
- * 資金不足比率** 公営企業会計（公共下水道事業特別会計）の資金の不足額の事業の規模に対する比率です。

新山・秋葉神社竣工式

9月18日、東日本大震災並びに福島第一原子力発電所事故により立入り規制が続いたことによる損傷と老朽化のため、再建工事を進めていた新山・秋葉神社の社殿が完成し、竣工式が行われました。

社殿は、旧中央公園（山頂）へ移転して新築され、竣工式では氏子や新山地区、下条地区住民の代表が心のよりどころであった神社の完成を祝いました。

震災当時の社殿は、昭和29（1954）年に山頂にあった社殿が焼失した際に、少し下の場所に再建されたものだったとのことです。このたび協議した結果、山頂に新築することが決まり、再建に至りました。

竣工式当日は、新山芸能保存会による神楽の奉納が、約20年ぶりに境内で行われました。



ブロッコリーを作付け

9月18日、昨年に続き今年も下羽鳥地区でブロッコリーの作付けが行われました。当初8月下旬を予定していましたが、大雨や台風の影響を受け延期が続き、天候に恵まれた9月の連休最終日から、下羽鳥の木幡治さんのほ場で、作付けを開始しました。

今年は下羽鳥と中野江又の約3.7haで作付けを実施し、木幡治さんと株式会社JAアグリサポートふたばにより、定植機を使い、ブロッコリーの苗を植えました。

ブロッコリーは今年の冬に収穫され、モニタリング検査を受けてから出荷される予定です。



令和5年度

双葉町住民意向調査



“町民一人一人の復興”と“町の復興”を進めるための大切な調査です

今後のまちづくりに向けて町民の皆さまの考えを把握するため、今年度も復興庁、福島県と共同で住民意向調査を実施します。

この調査は、町民の皆さまの今後の生活設計や帰還の意思についてご意見・ご要望などをいただき、生活支援策やまちづくりを検討するための貴重な資料として活用する調査です。多くの皆さまの声を反映した「町民一人一人の復興」、「町の復興」が進められるよう、本調査へのご協力をお願いいたします。

対象者

震災時に双葉町に住民登録があった全世帯の代表者

- ▶ 分散避難されている場合は、それぞれの避難先へ調査票を送付しますので、送付された代表者ごとに回答をお願いします。

調査方法

専用の封筒で調査票を送付します

- ▶ 記入後、同封の返信用封筒へ調査票を封入し、郵便ポストへ投かんしてください。

実施期間

10月30日（月）～11月19日（日）

【問い合わせ先】 復興推進課 復興推進係 ☎ 0240-33-0127

双葉町教育委員の再任

双葉町教育委員として大久保敏己さん（山田）が再任されました。任期は令和5年10月1日から令和9年9月30日までの4年間です。



双葉町産業交流センター開館3周年

10月1日、双葉町産業交流センターが開館から3周年を迎え、記念イベント「双葉町ストリートパフォーマンスフェス」が行われました。開催セレモニーで、伊澤史朗町長が「産業交流センターは、町の交流施設としてオープンした当初よりコロナ禍や地震などの影響を受けてきましたが、3周年を迎え今後も多くの方が双葉町に訪れ、賑わいが生まれることを期待しています」とあいさつし、標葉せんだん太鼓保存会の力強い演奏により始まりました。

ステージでは、全国から大道芸や音楽演奏、ダンスなどのパフォーマーが集結し、1日を通じてさまざまなステージイベントが行われ、音楽ユニットA & A（ペンギンの山本敦子さんと大熊町の佐藤亜紀さんによるエレクトーンと歌のステージ）がイベントのフィナーレを飾りました。

フードコートや店舗での割引が行われたほか、キッチンカーの出店や豪華賞品がもらえる抽選会なども行われました。



ふたばワールド2023 in 大熊

10月7日、大熊町の学び舎ゆめの森を含む周辺の特設会場で、「ふたばワールド2023 in 大熊」が開催されました。

メインステージでは各町村の芸能発表が行われ、双葉町からは、標葉せんだん太鼓保存会、JAふたばスマイル大正琴の皆さんが出演しました。お笑い芸人のアルコ&ピースさんも出演したお笑いステージや歌手の小林幸子さんの歌謡ショーもあり、多くの方が集まりました。

会場内では、双葉郡内の物販や飲食店による「ふるさとマルシェ」でグルメやお買い物を楽しみ、子どもが楽しめる遊具がそろった「おおくまこどもパーク」や、ふくしまのおいSea! 鍋（ドラマ「ウオメシ〜おいSea! 食卓」がプロデュース）のふるまいなどもありました。町からふるさとマルシェに5店が出店したほか、町や観光協会等がPRを行い、双葉町ブースもにぎわっていました。



県立双葉高校創立100年記念式典

10月8日、双葉町産業交流センターにおいて、福島県立双葉高等学校創立100年記念式典が挙行されました。大正12（1923）年4月に県立旧制双葉中学校として開校した双葉高校は、震災と原発事故により、平成29年から休校中となっていますが、100年の節目の年を祝い、将来へ向けた団結のため同窓生による実行委員会が発足し、記念式典の開催にこぎつけました。

式典で伊澤史朗町長は、町と双葉高校の歴史にふれながら、「双葉町の復興なくして、双葉高校の復活はあり得ないとの強い思いで、『文教の町双葉町』の復興を進めてまいります」とあいさつしました。

「創立百年記念讃歌」として、卒業生の志賀泉さん（昭和54年卒）が作詞し、渡辺俊美さん（昭和60年卒）が作曲した「百年の樹」の演奏と、震災当時の生徒会長で現在は福島県の教員になられた猪狩良太さん（平成24年卒）から「創立百年の誓い」が発表され、校歌を斉唱しました。

セレモニーでは産業交流センターに野外ステージを設け、「渡辺俊美と歌うライブ」が行われました。双葉高校の応援歌に始まり、「I love you & I need you ふくしま」などの3曲と、「百年の樹」、最後に再び全員で校歌を歌い100年の節目を祝いました。



会場
の入口に
3度
の甲子園
と家庭科
クラブ
の成績が
展示さ
れていま
した



応援歌を歌う志賀泉さん（右）と渡辺俊美さん（左）

双葉町ダルマ市出店者の募集について

令和6年の年明けにJR双葉駅前で開催予定のダルマ市に出店する事業者を募集しています。詳しくは、双葉町ダルマ市実行委員会事務局までご相談ください。

- ◆ 日 時：令和6年1月6日（土）、7日（日） 10:00～15:00
- ◆ 場 所：JR常磐線双葉駅東口付近
- ◆ 出店料：3,000円
- ◆ 申し込み期限：令和5年11月10日（金）必着

【申し込み・問い合わせ】 双葉町ダルマ市実行委員会事務局（双葉町商工会内）

〒971-8184 いわき市泉町黒須野早稲田92-13 ☎0246-88-9855 FAX 0246-88-9856

ふたばスポーツフェスティバル2023



コーラスふたばによる「町民の歌」斉唱



キャッチングボールむかで



ボールとさんぽ



9月30日、東日本大震災・原子力災害伝承館の芝生（アーカイブ広場）において、「ふたばスポーツフェスティバル2023」が開催され、約130人が参加して、スポーツを通じた交流を行いました。スポーツフェスティバルは、天候とコロナ禍による中止が続き、4年ぶりに震災後初めて双葉町内で実施することができました。

実施にあたっては、町スポーツ推進委員会を中心とした「絆スポレクふたば実行委員会」が、年齢や性別に関係なく誰でもできる競技種目を考え、準備や試行を重ね、使用する道具等も手作りしました。玉入れに使った玉は婦人会の皆さんに作っていただきました。

開会式では、コーラスふたばの皆さんによる「町民の歌」斉唱のあと、箭内充実行委員長が開会を宣言し、伊澤史朗町長が「皆さん一緒に体を動かし、参加者同士の交流を深めるとともに、スポーツを通じて心身のリフレッシュをはかり、健康増進の一助としてほしい」とあいさつしました。次に、伊藤哲雄町議会議長と橋本徹県議会議員が祝辞を述べました。

参加者を代表して、山根さよりさん、新家希花さん、新家碧彩さんが「双葉町に笑顔の花を咲かせ、チームで力を合わせプレーすることを誓います」と選手宣誓を行い、スポーツプログラムに入る前に全員でラジオ体操を行いました。



玉入れ



ボウリング



宝拾い



▲玉入れで赤チームは100個の記録



▲豚汁がふるまわれました

昼食時には産業交流センターのフードコートのほか、3台のキッチンカーがカレーや弁当などの販売を行いました。また、豚汁の提供もあり、参加した皆さんは話をしながら青空の下で昼食を楽しみました。

▶優勝チームキャプテンの西山さんにトロフィー授与



◀優勝した青チームの皆さん

スポーツプログラムは赤・黄・青・黒の4つのチームに分かれ、「キャッチングボールむかで」、「ボールとさんぼ」、「宝拾い」、「ボウリング」と「玉入れ」の5つの種目に汗を流しました。

どの種目もチーム全員が参加するもので、チーム内には協力が生まれ、玉入れでは、赤チームが制限時間1分30秒間に用意された100個の玉をすべてかごにおさめました。

結果は、優勝が青チーム、2位が黄色チーム、3位が赤チーム、4位が黒チームで、優勝チームには伊澤町長からトロフィーが授与されました。

閉会式では、副実行委員長の館下明夫教育長が「震災前、毎年開催されていた町民体育祭への強い思いがスポーツフェスティバルの実施につながり、震災後初めて、町内で無事に実施することができました。来年も双葉町で実施したい」と述べました。

加須市立種足小学校との交流会

9月22日、町立小学校5、6年生児童10人が修学旅行で加須市立種足小学校を訪問しました。種足小と町立学校の児童との交流は、コロナ禍でもビデオメッセージ等で継続して行われてきました。町立小学校の児童が種足小学校を訪問するのは4年ぶりとなりました。

町立学校の児童が到着すると、種足小の体育館で全校児童約130人が出迎えてくれました。あいさつの後、グループに分かれてフラフープを使ったレクリエーションを行ううちに、児童たちには次第に打ち解けた様子が見られました。

その後、教室へ移動し、5年生児童とお互いのことをよく知るためにクイズを通じた交流を行いました。

次回の交流会は来年7月、種足小が臨海学校でいわき海浜自然の家を訪れる際に行われる予定です。



森林環境学習

9月25日、町立小学校で、1、2年生児童4人が参加し、森林環境学習が行われました。

児童たちは、「もりの案内人」である2人の講師の説明を聞いて、森林の大切さに関する学習やネームプレート等のクラフトに取り組みました。講師が持ってきた木の枝や実に触れる顔つきはとても真剣でした。

この事業は福島県森林環境交付金を活用して実施しました。



～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

今年は、秋が駆け足で過ぎてゆくようです。猛暑が続き、秋の味覚である各種キノコや栗、農作物にも影響が及んでいるようですが、少し気温も下がってきたかと思えば、朝晩は肌寒い日が続き、「もう冬の到来か」と思わせる今日この頃です。また、新型コロナウイルスへの対応が緩んだ結果でしょうか、インフルエンザの流行が懸念されています。

感染症予防には、やはり「手洗い、うがい」が一番です。再度、意識を高め感染症予防対策を心がけてほしいと思います。

●【ふたばスポーツフェスティバル2023】9月30日

4年ぶりとなるスポーツフェスティバル。これまでは、台風、コロナ禍、直前の雨などで中止となって残念な気持ちでございましたが、今年は、心配された雨も全競技終了までもってくれ、時折晴れ間がのぞくなど、会場内は元気いっぱいの歓声が響き、楽しい時間を過ごすことができました。さらには、双葉町内で実施できたのは震災後初めてで、ふるさとの風を感じながら参加いただいた町民の皆さまには満足いただけたと思います。本当にありがとうございました。

来年度も、町民の皆さまに楽しんでもらえる競技を企画してまいりたいと思います。ぜひ、多くの皆さまの参加をお待ちしております。



●【婦人会から雑巾の寄贈】10月5日

婦人会の皆さまが直接学校に赴き、雑巾273枚の寄贈を受けました。会員の皆さまの温かい気持ちを、児童・生徒にも伝えながら感謝の気持ちと愛校心の醸成に役立てていきたいと思えます。誠にありがとうございました。

●【興福寺 貫首 森谷英俊猯下 中野八幡神社・合祭殿 巡拝】10月11日

奈良県六大寺（南都隣山会）の1つ、興福寺の貫首 森谷英俊猯下が中野八幡神社を巡拝されました。以前お伝えしましたように、今年5月11日に、「東日本大震災義援金」として、双葉地区教育長会（8町村）へ多額の浄財をご寄付いただきました。11日は月命日であり、令和5年は13回忌に当たります。伊澤町長と一緒に迎え、改めて感謝の気持ちをお伝えしました。



●【梅檀祭】10月21日

町立幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒 総勢41人による梅檀祭が開催され、日頃の学習の成果を発表しました。今年も、児童・生徒による勇壮な「せんだん太鼓」の発表がありました。これも、標葉せんだん太鼓保存会代表の今泉様と野村様のご指導の賜物と感謝申し上げます。

梅檀祭の詳細は、次号にて掲載したいと思います。

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫



婦人学級の活動報告



婦人学級は、学級生の皆さんの自主的な学びにより教養を高め、充実した生活を送ることを目指し、さらに、各避難先において様々な活動を通して、絆の維持、親睦を図ることを目的として活動しています。どの学級もとても積極的に活動を行っており、充実した内容となっています。また、女性だけでなく男性も参加することが可能です。

まだ婦人学級へ参加したことがない方は、お住まいの地域の学級へ参加してみたいかでしょうか。



7月、8月の活動 LEDあかりアート作成



9月の活動 旧県庁文翔館見学

たんぽぽ学級 (郡山市)

7月、8月に町民作品展に向けてLEDあかりアートを作成しました。それぞれ素敵な作品が完成しました。

9月には旧山形県庁の文翔館を見学し、見聞を広めることができました。



LEDあかりアート作成の様子

つくば・ふくろう学級 (つくば市)



6月の活動 現地研修



7月の活動 ヨガ教室の様子

6月は浜離宮恩賜庭園、迎賓館赤坂離宮の現地研修を行いました。館内の造りや調度品の素晴らしさに感激しました。

7月は講師をお迎えしヨガ教室を行いました。身近にあるイスを使って、ストレッチ運動を教えていただきました。



6月の活動 食事会



9月の活動 スマホ勉強会

梅檀婦人学級 (福島市)



食事会の様子

6月の活動では食事会を開催し、参加者で意見交換などを行い、親睦を深めました。

9月は講師の方をお招きし、スマホ勉強会を開催しました。電話での詐欺対応や電話の着信設定などについて説明を受けました。

ほかの学級活動についても今後、広報紙でお知らせしていきます!

第35回 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が、11月19日(日)しらかわカタールスポーツパーク陸上競技場(7:40予定)から福島県庁前の16区間、96.3kmのコースで繰り広げられます。皆さまの温かい声援が大きな励みになります。ふるさとの思いをのせて双葉町のタスキをつなぐ選手の皆さんへの応援をよろしくお願いします。

監督: 白土 直裕 コーチ: 吉田 一弘、佐藤 剛(敬称略) **ゼッケンNo.は 40** です。

(コース図)

区	距離(km)	競技者	区間(中継所名)
1	4.0	女子	しらかわカタールスポーツパーク(白河市総合運動公園) 陸上競技場～サンフレッシュ白河・大沼体育館前
2	8.2	男子	サンフレッシュ白河・大沼体育館前～泉崎さつき公園前
3	5.8	男子	泉崎さつき公園前～矢吹町役場内
4	7.3	男子	矢吹町役場内～鏡石町・鳥見山陸上競技場内
5	6.4	男子	鏡石町・鳥見山陸上競技場内～須賀川市役所内
6	8.3	男子	須賀川市役所内～郡山市・ゼノアック日本全業工業(株)内
7	5.4	男子 中学生	郡山市・ゼノアック日本全業工業(株)内～郡山市・郡山ヒロセ開成山陸上競技場東側
8	4.1	男子 中学生	郡山市・郡山ヒロセ開成山陸上競技場東側～郡山市・郡山北工業高校内
9	3.0	女子 中学生	郡山市・郡山北工業高校内～平成記念郡山こどものもり公園入口前
10	10.6	男子	郡山市日和田・平成記念郡山こどものもり公園入口前～本宮市・(株)白岩屋商店前
11	3.9	女子	本宮市・(株)白岩屋商店前～大玉村・(株)イジマ前
12	7.0	男子	大玉村・(株)イジマ前～二本松市役所内
13	4.8	男子	二本松市役所内～二本松市・安達支所内
14	5.7	男子 中学生又はシニア	二本松市・安達支所内～福島市・松陵中学校前
15	3.4	女子 中学生又はシニア	福島市・松陵中学校前～福島大学入口
16	8.4	男子	福島大学入口～福島県庁前



ふたば幼稚園だより

ふたば幼稚園での園児たちの日常の様子をお知らせします。



園外保育 (天神岬スポーツ公園)



10月の園外保育で、楯葉町にある天神岬スポーツ公園に行ってきました。

朝から晴天に恵まれ、子どもたちも初めての公園に行くことを何日も前から楽しみにしていました。海が見え、公園の遊具が見えてくると「初めて見る滑り台がある!」「クジラみたいなものがあるよ!」とバスでの会話も弾みます。海が近くなので少し風が強かったのですが、4人で並んですべることのできる滑り台や、船の形の遊具、ブランコなど、休むことなく楽しみました。初めて「うんてい」にも挑戦しました。前に進むことが難しく苦戦していましたが、何度も果敢に挑戦する姿に成長を感じました。

今年も、小学生と一緒に植えたさつまいもの収穫を行いました。5月に植えたさつまいもの苗の成長を見守りながら、ようやく収穫の日を迎えました。

毎年、小学1、2年生との交流の一環で行っているさつまいも掘りですが、年長児は昨年もやっているの、慣れた様子でどんどんさつまいもを見つけ掘っていました。昨年は、収穫が遅くなってしまい、抜くのに少し苦労しましたが、今年は大きさもちょうどよく、どんどん掘っていました。掘っている途中で「焼き芋にして食べたいなあ」という声がたくさん聞かれました。

さつまいも掘り



【問い合わせ先】 ふたば幼稚園 ☎ 0246-88-8084 **子育てサロン実施中です!**

つながる! ガーデンコンテスト

お気に入りの花壇に投票をお願いします

本コンテストは、一般社団法人ふたばプロジェクトが主催する「ふたば、ふたたび☆ガーデンプロジェクト」の新たな取り組みとして、町内における住民と企業、企業と企業のつながり創出を目的として、町内立地企業で働く方と町内居住者を対象に実施します。

令和5年度は総勢12チームが参加しています。11月9日から思い溢れる各チームの花壇写真を産業交流センター1階に展示いたしますので、ぜひ皆さまに足を運んでいただき、投票をお願いいたします。

● **花壇の写真の展示と投票の受付** 11月9日(木)から産業交流センター1階

● **花植え活動の実施** 10月31日(火)から11月7日(火)まで
福島県内外の避難先自治会や町立学校等6カ所

● **表彰** 12月8日(金) 16時30分から JR常磐線双葉駅前広場
表彰は、「ふたば、ふたたび☆みらいへのヒカリプロジェクト」点灯式内にて実施します。

多くの皆さまのご来場をお待ちしております。



【問い合わせ先】 一般社団法人ふたばプロジェクト ☎ 0240-23-7637

復興支援員紹介



双葉町復興支援員
藤原 千里

9月15日から双葉町復興支援員になりました、藤原千里（ふじわらちさと）と申します。

双葉町の広報、コミュニティ支援を担当いたします。

私は岩手県出身で東北の震災復興のニュースを目にすることが多く、学校の授業や部活動で被災地を訪問する機会があり関心を持っていました。

双葉町の復興やつながりを守っていくために活動する復興支援員を知り、学生時代に自治体と協力して取り組みを行った経験とデザインの知識を活かしつつ、町の情報を発信しお伝えしていくことで力になりたいと考え支援員になりました。

復興支援員の活動を通してこれから皆さまとお会いできる機会があると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ふるさと双葉の歴史・文化

第1回 ダルマ市の変遷

双葉町における年始の風物詩・ダルマ市。伝承によれば、その歴史は江戸時代にまでさかのぼるとされていますが、その詳細は分かっていません。

ダルマ市のルーツが記録上確認できるのは、明治時代からです。明治37年度（1904）の『福島県統計書』には、旧暦1月17日（新暦3月3日）に長塚村で市が開かれたこと、売買品の中に「魚類」、「野菜」、「玩具物」（おもちゃ）、「小間物」があったことなどが記されています。市の開催日が現在とは異なっていますが、『福島県統計書』や『双葉町年表』などを見ると、かつてダルマ市は、旧暦の1月13日（新暦の2月上旬～3月上旬頃）を基準に開催されていたことが分かります。また、販売物に「玩具物」があることなどを考えると、この1904年に催された市は、現在のダルマ市のルーツと考えても良いのではないのでしょうか。

なお、旧暦から新暦の1月13日開催になるのは1961年以降のことです。この前年に、双葉郡町村会において翌年から新暦で正月・お盆を行うと決まったことがきっかけと考えられます。そして、1970年代から12日・13日の2日間開催されるようになり、1992年からは1月第2土・日曜日の開催になりました。



2010年1月10日開催のダルマ市

今月の双葉ダルマさん

10月7日、双葉ダルマさんは14時から15時まで福島市で開催された陸上自衛隊福島駐屯地70周年記念パレードに出場しました。

また、ふたばワールド in 大熊にも登場し、双葉町ブースを訪れたり、子どもたちとのふれあいや記念撮影に応じていました。



自衛隊の特殊車両に乗車する双葉ダルマさん

双葉ダルマさんのSNSを
チェックしてね



インスタ



Tiktok

令和6年度 双葉町職員(社会人経験者)採用候補者試験 受 験 案 内

(令和6年4月1日採用予定) SPI方式

受付期間 令和5年11月1日(水)～令和5年11月24日(金)まで

- 民間企業の採用試験で広く採用されている「SPI3」を使用した筆記試験を受験します。
- SPI3試験は、リクルートが運営する全国のテストセンターで受験が可能です。
- 公務員試験の勉強をしていない方でも、受験いただきやすい試験です。

- 受け付けは、月曜日から金曜日の業務時間内(8:30～17:15) ※祝日を除く
- 郵送による申込用紙提出の場合は、**令和5年11月22日(水)まで**の消印有効。
- 申込用紙は、双葉町役場総務課(2階事務室)で交付しています(全職種)。
また、申込用紙は、町公式ホームページからのダウンロードや郵送による請求も可能です。郵送での請求方法は、「6 受験手続」を参照してください。
- ※申込書の提出先は双葉町役場総務課となります。いわき支所、郡山支所及び埼玉支所では受け付けできませんのでご注意ください。
また、申込用紙には添付する書類がありますので、早めに手続きをお願いします。

1 試験職種と採用予定人員

職 種	行政職	土木職・農業土木職	建築職	保健師
採用予定人員	若干名	若干名	若干名	若干名

2 受験資格 [共通] 民間企業等における職務経験を4年以上有する又は青年海外協力隊等における活動経験を2年以上有する方(学歴は問いません)

行政職	昭和53年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者
土木職・農業土木職	昭和53年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者
建築職	昭和53年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者
保健師	昭和53年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者であって、保健師資格免許所有者

※ただし、次の各号のいずれかに該当する者は受験できません

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (3) 本町職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (4) 人事委員会又は公正委員会の職にあって、第60条から第63条までに規定する罪を犯し、刑に処せられた者
- (5) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験の方法及び内容

(1) 第1次試験

試験の方法	試 験 内 容
SPI3-G	基礎能力検査(言語・非言語)、性格検査 <受験の流れ> ①テストセンターの予約を行う。 ②自宅等で性格適性検査を受験する。 ③テストセンターで基礎能力検査を受験する。

(2) 第2次試験

試験の方法	試験内容
論文 個別面接	・公務員としての資質等、職員として求める人物を評価する試験

4 試験の期日及び場所

区分	試験日時	場所
第1次試験	令和5年11月27日から 令和5年12月8日まで	リクルートが運営する全国のテストセンター
第2次試験	日時・場所など詳細は、第1次試験合格者に通知します。	

5 合格者の採用

- (1) 合格者は採用候補者名簿に記載され、令和6年4月1日以後欠員が生じた都度採用されます。(この採用候補者名簿の有効期間は原則として、1年間です)
 - (2) 例えば、令和6年4月1日付けで採用された場合、最低でも令和6年9月30日までの期間は条件付職員として役場の行政事務補助員として業務に就いていただき、適性を判断した後各課に正職員として配属になります。したがって、正式採用は、令和6年10月1日以後になります。また、この条件付採用職員の期間に役場職員として相応しくないと判断された場合は、正式採用されない場合がありますのでご留意願います。
- (注) 受験者本人並びに第三者に関わらず、採用を有利に運ぶ目的をもって便宜を図るための行為をした場合は受験資格を失います。また、採用後この事実が明らかとなった場合は、採用が取り消されます。

6 受験手続

(1) 申込用紙の請求

申込用紙は、双葉町役場総務課で交付します。郵便により申込用紙を請求する場合には、封筒の表に「職員(社会人経験者)採用試験申込用紙請求」と朱書きし、120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角形2号: 240^{ミリ}×332^{ミリ})を必ず同封し、双葉町役場総務課へ郵送してください。

申込用紙は町公式ホームページからもダウンロードすることができます。

いわき支所、郡山支所及び埼玉支所での用紙交付及び郵便請求による申し込みはできません。

(2) 申込方法

申込用紙に必要事項を記入し、必要書類を添えて双葉町役場総務課へ提出してください。また、郵送により申込用紙を提出する場合は、封筒の表に「職員(社会人経験者)採用試験申込」と朱書きし、添付書類を添えて必ず簡易書留で郵送してください。

【添付書類】 ○エントリーシート兼履歴書 ○誓約書

(3) その他

エントリーシート兼履歴書には、最近6カ月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cm)1枚を写真欄に貼ってください。

7 試験結果の開示

試験の結果については、個人情報の保護に関する法第69条第2項第1項の規定により、口頭で請求できます。(SPI3のみの得点は、利用規約に基づき、結果の開示はできません。)

ただし、電話、はがき等による請求では開示できません。受験者本人であることを明らかにする顔写真入りの書類(運転免許証、学生証、旅券等)を持参のうえ、受験者本人が直接、双葉町役場総務課へおいでください。

なお、請求できる時間は午前8時30分から午後5時15分まで(土・日、祝日を除く)で、期間は合格発表の日から起算して1カ月以内となっております。

【問い合わせ先】 〒979-1495 福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
総務課 行政係 ☎0240-33-0124

◆◆◆ 中学校同期会 万感の盛り上がり ◆◆◆



新型コロナウイルス感染症のため中断していた昭和31年度第14回双葉中学校卒業生の同期会ですが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、9月21日、22日に常磐湯本温泉の雨情の宿「新つた」でようやく開催しました。

当日は、県内外遠くは名古屋などから30人が集い、久しぶりの懐かしい再会でお互いの現況をはじめ、故郷の復興状況なども

話題になり、夜遅くまで話が尽きないほど盛り上がりました。

30人のうち、原発事故時に双葉町に居住していた参加者は8人でした。

翌朝、昨夜の余韻を胸にこの先、更に元気で過ごし次の再会を誓い合い名残惜しく散会しました。

事務局 永井幸雄・幹事 大橋庸一

年金事務所からのお知らせ

◆ 11月30日(いいみらい)は「年金の日」です!! ◆

ご自身の年金記録や年金見込額を確認し、将来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」をご利用いただくと、パソコンやスマートフォンからいつでもご自身の年金記録を確認できるほか、ご自身の年金記録からさまざまな条件を設定した上で、年金見込額の試算をすることもできます。



詳しくは、**日本年金機構ホームページ**をご覧ください。

○日本年金機構ホームページ(ねんきんネット) https://www.nenkin.go.jp/n_net/

双葉町の放射線に関する取り組みについて

町では放射線に関する健康不安などの解消を目的として、町民の皆さまと率直な意見を交換する車座意見交換会を開催しています。

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターの協力のもと、郡山支所にて1回目を8月17日、2回目を9月21日に開催しました。1回目は包括連携協定を結んでいる長崎大学の折田真紀子先生の講話を聞いた後に意見交換を行いました。2回目はビッグパレットふくしまにてホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を見学後、測定器を用いてビッグパレットふくしま敷地内の空間線量率を測定し、その後、意見交換を行いました。実際に測定器を使うことで放射線は比較的簡単に測定することができ、数値が変動することや数値が0にならないことを確認することができました。参加者からは「改めて放射線について少し理解ができた。さらに、他の方との意見交換もためになるものがあった」などの意見がありました。

空間線量率や放射線に関する相談や不安等があれば健康福祉課健康づくり係へお気軽にご相談ください。



1回目の意見交換会の様子



2回目の意見交換会の様子

作成協力：放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0246-84-5205

双葉町診療所からのお知らせ

双葉町診療所では、新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの予防接種を実施しています。いずれも予約が必要です。

接種対象者：18歳以上

- 接種日：火曜日・木曜日・金曜日
- 接種時間：午後2時から午後3時まで



【予約・問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎0240-33-0131

母子健康手帳で未接種の予防接種を確認しましょう

● 年長児以上の予防接種一覧

麻しん風しん混合 (MR) 第2期	平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれのお子さん (年長児)
日本脳炎 第2期	9歳以上13歳未満
二種混合 (破傷風・ジフテリア)	11歳以上13歳未満
子宮頸がん予防 (HPVワクチン)	平成19年4月2日～平成23年4月1日生まれの女子 上記のほか、平成9年4月2日～平成19年4月1日生まれの方は、令和7年3月31日まで、規定回数に満たない未接種分を接種できます。



● 接種時の持ち物 母子健康手帳、予防接種予診票

予診票をお持ちでない方

福島県内で受診される方は双葉町いわき支所で再発行しますのでご連絡ください。
県外で受診される方は避難先自治体にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 健康福祉課 健康づくり係 ☎ 0246-84-5200 (いわき支所)

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

● 特定帰還居住区域の被災家屋等の解体申請について

環境省では、双葉町の特定帰還居住区域 (下長塚行政区、三字行政区のそれぞれの一部) の建物解体の申請受付を開始しました。解体を希望する場合は、解体申請の受付窓口にご相談ください。
※特定復興再生拠点区域の解体申請は8月31日をもって締め切りました。

【解体申請受付窓口】 高島テクノロジーセンター (令和5年度環境省業務受託業者)

<場 所> いわき市東田町2丁目19-3 トークビル1-A号棟 (双葉町役場いわき支所の隣)
<受付時間> 月曜日～金曜日 8:30～17:15 (祝日及び年末年始を除く)
<連絡先> ☎ 0120-773-275 (フリーダイヤル)

中間貯蔵施設について

◇ 中間貯蔵施設見学会について

▶ 中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。11月は、17日(金)、18日(土)を予定しています。
見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター (☎ 0240-25-8377) までお願いします。(URL) http://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html



◇ 輸送について

双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。
・令和5年度は、24,582 m³搬入しています。(平成27年からの累計は3,923,266 m³) ※9月30日現在

◇ 放射線モニタリングについて

▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO (中間貯蔵・環境安全事業株式会社) のHPで公表しております。(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎ 024-563-1293

★ メタボ・減塩対策 ★ ヘルシーレシピ

「令和5年度栄養教室」で実施した調理実習のうちの1品をご紹介します。
ぜひご家庭でも作ってみてください！

『ねぎと蒸し鶏の大葉のせ』

(1人あたり栄養価：157kcal たんぱく質：19.3g
脂質：5.5g 食塩相当：0.8g)

【材料】 【分量(2人分)】

- 鶏むね肉(皮なし)…… 150g
 長ねぎ…………… 50g
 大葉…………… 2g(2枚)
 オリーブ油…………… 8g(小さじ2)
 酒…………… 20ml(大さじ1強)
 (A) { 鶏がらスープの素…… 3g(小さじ1強)
 水…………… 20ml(大さじ1強)

【添え野菜】

- ミニトマト…………… 60g(1人3粒ずつ)
 レモン…………… 20g(輪切り1~2枚程度)



作り方

- ① 長ねぎは1cm幅で斜め切り、大葉は千切りにする。
ミニトマトは半分に切って、レモンは輪切りにして別皿に置いておく。
- ② 鶏肉は観音開きにし、両面をフォークで穴をあける。ポリ袋に入れ酒を加えて揉みこむ。
- ③ フライパンにオリーブ油を入れ、②と長ねぎを入れ、アルミホイルで落し蓋をし、鍋蓋をして中弱火で3分加熱する。裏返してAを加え、さらに中火で2分加熱する。
- ④ フライパンに入れたまま粗熱を取る。粗熱が取れてきたら、鶏肉を食べやすい大きさに切る。
- ⑤ 皿に長ねぎを敷いた上に鶏肉をのせ、大葉を上から盛りつける。
①で切ったミニトマトとレモンを添える。

※レモンはお好みで、しばってかけるとさっぱり召し上がれます。



調理ポイント

- ✿ 鶏肉を観音開きにすることで、火が通りやすくなります。
- ✿ 鶏肉に酒を馴染ませることで臭みが取れ、身も柔らかくなります。
- ✿ 鶏肉を蒸し煮した際は、火の通りを確認しましょう。
- ✿ 残った汁を煮詰めてソースとして活用しましょう。

※鶏肉を調理した後のまな板や包丁等は、十分に洗浄・消毒し、食中毒予防に気をつけましょう。

肥満の人は、糖尿病や高血圧、脂質異常といった生活習慣病の危険因子を複数持ち合わせています。

肥満の危険因子が多くなるほど、脳卒中・心疾患などの発症危険度が増します。

目先の病気を治すだけでは終わらずに、根本的な生活習慣を見直すことで、新たな病気の発症を防ぎ、日頃から生活習慣病を予防しましょう。

郵便局における「避難先届」による転送取り扱い終了のお知らせ

東日本大震災に伴い避難されている方への郵便物等は、郵便局へ「お客様確認シート（避難先届）」を提出することにより、避難先へ転送されることとなっていますが、令和6年2月29日（木）をもって転送取り扱いが終了となります。

※「帰還困難区域」は除きます。

「お客様確認シート（避難先届）」による転送取扱い終了後も現在のお住まいに郵便物等をお届けするためには、郵便局に通常の「転居届」をご提出いただく必要があります。

なお、金融機関等からの郵便物など「転送不要」扱いのものについては転送されなくなるため、ご本人から金融機関等へ送付先の変更を依頼してください。

不明な点や問い合わせについては、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 原町郵便局コールセンター ☎ 0570-943-438

「(仮称)大熊ウィンドファーム事業 環境影響評価方法書」の縦覧のお知らせ

大熊ウィンドファーム合同会社が計画する「(仮称)大熊ウィンドファーム事業 環境影響評価方法書」について、環境影響評価の調査、予測及び評価の手法をとりまとめた「環境影響評価方法書」を以下のとおり縦覧し、説明会を開催いたします。

- 事業名称 …………… (仮称)大熊ウィンドファーム事業
- 対象事業実施区域 … 福島県双葉郡大熊町
- 縦覧場所 …………… 双葉町住民生活課
- インターネットによる公表 … https://ncd-wind.com/okuma_eia01.html
- 縦覧期間 …………… 11月10日（金）～12月12日（火）
- 意見書受付期間 …… 11月10日（金）～12月26日（火）

※環境影響評価方法書について、環境保全の見地からのご意見をお持ちの方は、書面に住所・氏名・意見（意見の理由を含む）をご記入のうえ、意見書受付終了日までに、縦覧場所に備え付けの意見書箱にご投函頂くか、下記のお問い合わせ先へご郵送ください（当日消印有効）。

- 縦覧・意見書受付時間 … 8時30分～17時15分（土・日・祝日を除く）
- 環境影響評価方法書についての説明会

日時及び場所

日 時：12月3日（日） 14時00分～15時00分

場 所：双葉町産業交流センター（双葉町大字中野字高田1番地1）

【問い合わせ先】 大熊ウィンドファーム合同会社 環境アセス係
 〒030-0861 青森県青森市長島二丁目13番1号 ☎ 03-4400-6362
 （土・日・祝日を除く、9時から17時まで）

双葉町社会福祉協議会

～ 11月 健康運動教室・サロンのお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

● 健康運動教室

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター 2階第6会議室 (郡山市喜久田町卸1丁目1-1)	①毎週水曜日 ②毎週木曜日 のどちらか ※祝日を除く	13:30～15:00	郡山事務所 ☎024-973-5291
福島市老人福祉センター 2階研修室 (福島市仁井田字八ツ割川原3)	11月14日(火)		
双葉町役場南相馬連絡所 1階会議室 (南相馬市原町区青葉町2-62-2)	毎週水曜日		南相馬出張所 ☎080-5730-1166

● 社協サロン

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
郡山市喜久田公民館 (郡山市喜久田町堀之内字下河原1)	11月6日(月)	10:00～11:30	郡山事務所 ☎024-973-5291
双葉町産業交流センター大会議室 (双葉町大字中野字高田1-1)	11月16日(木)	10:30～12:00	双葉町地域包括支援センター ☎0246-84-6729
白河市中心老人福祉センター会議室 (白河市北中川原313)	11月28日(火)	10:00～11:30	郡山事務所 ☎024-973-5291
富岡町役場いわき支所 多目的集会施設 (いわき市平北白土字宮前8)	11月28日(火)	10:00～11:30	本部事務局 ☎0246-84-6725
県営泉本谷団地 集会所 (いわき市泉町本谷字八合7-1)	11月30日(木)		

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間の実施について

福島地方法務局と福島県人権擁護委員連合会は、11月15日(水)から11月21日(火)までの7日間、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間として、夫・パートナーからの暴力やストーカーなど女性をめぐる様々な人権問題について、電話相談を実施します。相談は、人権擁護委員及び法務局職員が応じ秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

期 間 11月15日(水)～
11月21日(火)までの7日間

時 間 午前8時30分から
午後7時まで

ただし、11月18日(土)、11月19日(日)は午前10時から午後5時まで

電話番号 0570-070-810 (全国共通ナビダイヤル)

【問い合わせ先】 福島地方法務局 人権擁護課 ☎024-534-1994



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

【求職者向け】行くしかない!! 就職面接会 in ふたば

【参加無料・履歴書不要・服装自由】面接会が就職への近道♪求人票には載っていない魅力が聞ける!

★応募書類キットのプレゼント

- 日 時 … 11月22日(水) 13:30～15:00
- 会 場 … 双葉町産業交流センター(双葉町大字中野字高田1番地1)
- 参加企業 … 13社(企業の詳細はホームページをご覧ください)
- 参加方法 … 電話、ホームページから予約。または当日参加。入場は予約の方を優先します。予約がおすすめです。詳細はホームページをご覧ください。



働きたいネットの就職応援マルシェ【出張求職者カフェ】

参加無料・予約不要

ハローワーク富岡に求職者カフェがやってきます!就職活動に役立つ支援が無料で受けられます。是非お越しください。

日 時 12月13日(水) 9:00～12:00 **場 所** ハローワーク富岡 2階 会議室

- 支援メニュー**
- ・ 証明写真撮影 ※撮影希望の方はスーツ等の着用がおすすめ!貸出用ジャケット有
 - ・ 応募書類作成
 - ・ 面接対策
 - ・ 適職診断 等



【問い合わせ先】 ホームページ [働きたいネット](#) で検索

福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口(福島市中町4番20号 みんなビル202号)

☎ 024-524-2121 FAX 024-524-2125



消防署からのお知らせ



秋の火災予防運動

11月9日から11月15日は火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防の意識を高めることで、火災の発生を防止し、尊い命を守るとともに財産の損失を防ぐことを目的とした運動です。住宅火災を防止するため下記の対策や点検を行いましょ!

住宅防火対策

たばこ

- ・ポイ捨てはしない。
- ・寝たばこはしない。



放 火

- ・家の周りに燃えやすい物は置かない。



コンロ

- ・コンロを離れるときは、必ず火を消す。



電 気

- ・コンセントや電気コードのたこ足配線はしない。



住宅用火災警報器の点検を実施しましょう!



2023年度全国統一防火標語

【火を消して 不安を消して つなぐ未来】

火事と救急は119番

＜消防署連絡先＞

- ・浪江消防署 ☎0240-34-4111
- ・葛尾出張所 ☎0240-29-2119



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

今年も集いました。「第6回彼岸花を愛でる会」

2018年4月15日、双葉町細谷から川俣町山木屋に移植した彼岸花がほぼ満開で見頃を迎えた9月30日「第6回彼岸花を愛でる会」を産業技術総合研究所、福島ダイアログの後援を得て開催し、参加者は楽しく交流をしました。

天候にも恵まれ、ほぼ満開の彼岸花が秋の日差しをいっぱい浴びそよ風に揺れながら深紅に輝く光景は圧巻でした。

双葉町細谷住民をはじめ遠くは神戸市、東京都、つくば市、仙台市などから約30人が集い出合いを喜び合いながら、みんなで料理した美味しい芋煮を味わいながら彼岸花を眺め会話が大いに弾みました。

余興として、オカリナ演奏があり透明な美しい音色が山々に流れ雰囲気は佳境を迎えました。

参加者は楽しく交流した時間を胸に明日への活力を得たようでした。

そして、余韻の残る中、来年の再会を楽しみにそれぞれ散会し、心に残る交流会となりました。

大橋 庸一（細谷）



人のうごき9月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
山本真太郎	9月19日	正太・香織	鴻草

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
遠藤八重子	83	8月26日	細谷
森田ミヤ子	81	8月24日	長塚二
松田 良子	96	9月 2日	新山
大島 英子	86	8月30日	長塚二
鈴木津美子	67	8月19日	郡山
菊池 ハル	92	9月16日	新山

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎0240-33-0125

【文芸】

俳句・猛暑去り

秋長けなわに 萩の花

・彼岸来て

いつの間にやら 秋の色

里謡

・黄金波打つ田んぼの案山子

・四方睨んで田の真中

・猛暑続きもいつしか去って

・虫の音高く騒がしい

短歌

農家安堵の 農終いなる 稲を刈る

エンジン音響かせて

今泉 禮子（長塚二）

双葉町民の避難状況 （令和5年10月2日現在）

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

- ・福島県内に避難されている方 3,873人
- ・福島県外に避難されている方 2,691人

辰

（たつ）年生まれの皆さん、広報ふたばに新年の抱負を掲載しませんか

- 掲載号：令和6年1月号
 - 文字数：300字程度
 - 原稿締切：11月30日（木）
- ※顔写真が1枚必要となります。

寄稿して下さる方には、原稿用紙をお送りします。詳しくは下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0240-33-0125 ✉ hisyo-koho@town.futaba.fukushima.jp

今月のベストスマイル



ふたばスポーツフェスティバル2023に参加した婦人会の皆さんの笑顔です。



編集後記

9月末に行われたふたばスポーツフェスティバル2023の競技5種目は、性別や年齢に関係なく誰でも楽しめるもので、雨が降った場合は屋内でもできるよう工夫がされていたそうです。チームのメンバーは初めて顔を合わす人もいましたが、お互いに助け合い、遅れているチームを全員で応援する様子も見られました。終始和気あいあいとした時間で、最後に笑顔で集合写真を撮りました。震災前の町民体育祭は行政区ごとの熱い真剣な戦いだったと聞いています。だいぶ様子が変わったという印象を持つ方も多いのかなと思いましたが、玉入れの様子を見た方が、「この雰囲気は震災前の町民体育祭みたいだ」と話していました。

秋になり、様々なイベントが町内だけでなく双葉郡内で毎週のように開催されています。避難先からも、体調や都合に合わせて参加していただき、懐かしい雰囲気を感じたり、日頃会えない人と再会の機会になることを願っています。

連絡先

- **双葉町役場 本庁舎**
〒979-1495
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
☎ 0240-33-2111
FAX 0240-33-2115
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp
- **いわき支所**
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ iwaki@town.futaba.fukushima.jp
- **郡山支所**
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp
- **埼玉支所**
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所2階
☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp
- **南相馬連絡所** (午前8時30分～正午、午後1時～午後5時15分)
〒975-0039
福島県南相馬市原町区青葉町2-62-2
☎ 0244-32-1275
FAX 0244-32-1277
- **つくば連絡所** (月・火・水 午前9時～午後5時)
〒305-0044
茨城県つくば市並木3丁目1 551棟
☎/FAX 029-854-7511

○ **双葉町公式ホームページ**
<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

○ **双葉町産業交流センター
公式ホームページ**
<https://www.f-bicc.jp/>



○ **双葉町公式YouTubeチャンネル**
<https://www.youtube.com/user/futabakoho>

○ **双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」**
<https://futabanowa.wordpress.com/>

